

平成30年北海道胆振東部地震に伴う災害現地調査チームとして湯沢砂防事務所から緊急対策派遣隊(TEC-FORCE)4名が出発しました。

平成30年9月6日(木)に北海道胆振東部地方を震源とするマグニチュード6.7、最大震度7の大規模な地震災害が発生しました。

その状況を受け、現地被災状況の把握、二次災害の発生及び拡大防止、早期災害復旧を目的に本日9月12日(水)湯沢砂防事務所から、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)4名が、北海道開発局へ向け出発しました。

なお、北陸地方整備局からは、9月6日(木)より第1陣が派遣されており、本日より第2陣の総合指令班3名、被災状況調査(砂防)班8名、被災状況調査(道路)班8名、計19名が現地に向け出発しています。

出発式の様子

隊員の決意表明、事務所長からの激励



TEC-FORCE現地調査状況

平成30年7月豪雨



緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)とは？

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)とは、被災した地方公共団体の災害対応を支援する、国土交通省の組織です。

その目的は、大規模な自然災害が発生し、又は、発生するおそれがある場合において被災自治体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大防止、被災地の早期復旧その他災害対策に関する技術的な応援を迅速かつ確に実施することを目的として平成20年に創設されました。湯沢砂防事務所では、平成30年7月豪雨や、昨年の九州北部豪雨、熊本地震等に参加しています。